

<学長用>

国立大学法人の
財務・経営の実態に関する
全国調査
（Ⅰ．組織運営）

2006年1月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は学長（総長）を対象としたものです。学長（総長）の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接記入していただくか、または同封の回答用フロッピーディスク内のファイルに直接入力してください。
4. 記入の済んだ調査票もしくは回答用フロッピーディスクは、同封の返信用封筒に入れて、他の3つの調査票といっしょに2月6日までにご返送ください。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

1 大学の管理運営

問1 役員会

(1) 役員会は学長と理事により構成されることになっています。貴大学では、理事を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。a～hそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 担当業務の専門性.....	52.4	36.9	6.0	3.6	1.2
b. 役職者としての力量・経験.....	73.8	23.8	2.4	0.0	0.0
c. 役員構成のバランス.....	42.9	40.5	14.3	2.4	0.0
d. 卒業生・同窓会との関係.....	4.8	9.5	28.6	35.7	21.4
e. 地域との関係.....	13.3	22.9	24.1	25.3	14.5
f. 文科省との関係.....	11.9	29.8	33.3	13.1	11.9
g. 部局との関係.....	22.0	40.2	22.0	9.8	6.1
h. 学長の方針・意向.....	69.0	28.6	1.2	0.0	1.2

(2) 貴大学では、教員出身の理事の教育活動について、どのような方針をとっていますか。

- | | | | |
|------------------------|------|--------------------|------|
| 1. 授業の担当を認めている | 16.9 | 2. 大学院生の研究指導を認めている | 14.5 |
| 3. 授業と院生の研究指導の両方を認めている | 54.2 | 4. どちらも認めていない | 14.5 |

(3) 中期計画・年度計画、予算配分等の経営上の重要事項を決定する際には、役員会の議を経ることになっています。貴大学の役員会はこれらの事項について実質的な審議を行う場として機能していると思いますか。

十分に機能 している	ある程度機能 している	あまり機能 していない	ほとんど機能 していない
69.0	28.6	1.2	1.2

(4) 貴大学では、上記の役員会の機能を充実・強化するための組織（たとえば拡大役員会、戦略会議など）を設置していますか。

- | | | | |
|---------|------|----------|------|
| 1. している | 82.1 | 2. していない | 17.9 |
|---------|------|----------|------|

1と回答した大学にうかがいます。当該組織の名称と設置の理由をお答えください（複数の組織を置いている場合は、それぞれについてお答えください）。

組織名称	
設置理由	

問2 経営協議会

(1) 貴大学では、経営協議会の学外委員を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。a～iそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 民間的発想の導入.....	81.0	17.9	1.2	0.0	0.0
b. 学識や専門性.....	58.3	34.5	6.0	1.2	0.0
c. 全国的な視野.....	37.3	37.3	20.5	3.6	1.2
d. 委員構成のバランス.....	57.1	38.1	3.6	1.2	0.0
e. 卒業生・同窓会との関係.....	20.2	35.7	21.4	15.5	7.1
f. 地域との関係.....	42.9	40.5	3.6	9.5	3.6
g. 文科省との関係.....	8.3	25.0	31.0	22.6	13.1
h. 部局との関係.....	6.1	11.0	30.5	34.1	18.3
i. 学長の方針・意向.....	58.3	21.4	16.7	2.4	1.2

(4) (2)で「1. 設置している」と回答した大学にうかがいます。法人化前と比較して、下記の点は概ねどのように変化しましたか。a～fそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a. 開催回数は	増えた	15.6	70.3	14.1	減った
b. 会議の時間は	長くなった	15.6	57.8	26.6	短くなった
c. 構成員の数は	増えた	39.1	50.0	10.9	減った
d. 審議へのコミットメントは	強まった	23.8	61.9	14.3	弱まった
e. 審議事項は	増えた	22.2	38.1	39.7	減った
f. 全学的重要性は	増した	32.8	51.6	15.6	減った

問5 全学委員会

(1) 貴大学では、法人化を契機に全学委員会の数を変更しましたか。

1. 従来通り 2. 若干数を減らした 3. 大幅に数を減らした 4. 必置のもの以外全廃した
- 2.4 35.4 50.0 12.2

(2) 現在設置されている全学委員会のうち、学長として特に重要と考える委員会の名前を重要度の高い順に**3つ**あげてください。

	委員会名称
第1順位	
第2順位	
第3順位	

(3) 重要度が最も高い全学委員会についてうかがいます。その委員の選任はどのような方法によっていますか。法人化前・後について、あてはまる番号を**すべて**お答えください（法人化前に当該委員会がなかった場合は、その前身にあたる委員会についてお答えください）。

1. 部局からの推薦者を委員に任命している (法人化前は)95.6 (法人化後は)76.9
2. 役員会からの推薦者を委員に任命している 10.8 43.6
3. 事務職員を委員として任命している 13.8 42.3
4. 担当業務の専門性を重視して任命している 21.5 37.2

	法人化前は	法人化後は
第1順位		

(4) 重要度が最も高い全学委員会についてうかがいます。その委員会は、法人化前と比べて下記の点は概ねどのように変化しましたか（法人化前に当該委員会がなかった場合は、その前身にあたる委員会についてお答えください）。a～fそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a. 開催回数は	増えた	36.0	54.7	9.3	減った
b. 会議の時間は	長くなった	20.3	68.9	10.8	短くなった
c. 委員の数は	増えた	30.1	47.9	21.9	減った
d. 審議へのコミットメントは	強まった	52.1	42.5	5.5	弱まった
e. 審議事項は	増えた	47.3	41.9	10.8	減った
f. 全学的重要性は	増した	62.2	32.4	5.4	減った

問6 学長補佐

(1) 貴大学では、学長や役員を補佐するための役職を設けていますか。

1. 設けていない 14.3 2. 設けている 85.7
- 1名13.6 2名11.9 3名13.6 4名20.3 5名8.5 6名6.8 7名5.1
9名1.7 10名5.1 11名1.7 12名3.4 15名1.7 16名3.4
18名1.7 19名1.7 うち学外者0名89.4 1名6.4 2名4.3

(2) **2**と回答した大学にうかがいます。その役職名と当該職を設けた理由をお答えください。

役職名	
設けた理由	

第V部 資料編

(3) (1)で「2. 設けている」と回答した大学にうかがいます。貴大学では、その学長補佐等を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 担当職務の専門性.....	56.9	34.7	5.6	1.4	1.4
b. 潜在的能力や将来性.....	63.9	15.3	16.7	1.4	2.8
c. 部局からの推薦.....	4.2	9.7	23.6	25.0	37.5
d. 学長の方針・意向.....	86.1	13.9	0.0	0.0	0.0

(4) (1)で「2. 設けている」と回答した大学にうかがいます。貴大学では当該職の教員について、授業や大学院生の指導に関わる負担の軽減措置をとっていますか。

1. 軽減措置をとっていない	2. 軽減措置をとっている	3. 軽減措置を今後とる予定
59.4	29.0	11.6

問7 企画室等の実務的組織

貴大学では、大学の運営・経営の円滑化を図るため、企画室・財務室・評価分析室などの実務的な組織（監査室を除く）を設置していますか。

1. 設置している	2. 設置していない
86.9	13.1

問8 事務部門

(1) 貴大学では、法人化前の事務局長の業務を、現在誰がどのように統括していますか。

1. 従来通り事務局長を置き、一元的に統括	33.3
2. 事務局長を兼ねる担当理事が一元的に統括	39.3
3. 事務局長を置かず、総務等の担当理事が一元的に統括	7.1
4. 事務局長を置かず、各担当理事が部門ごとに統括	9.5
5. その他	10.7

(2) 事務部門の運営について感じている問題点がありましたら、具体的にお答えください。

問9 学長選考会議

(1) 貴大学の新しい学長選考規定はいつ制定されましたか。

15年	1.3	16年	64.5	17年	30.3	18年	3.9
-----	-----	-----	------	-----	------	-----	-----

(2) その新しい学長選考規定による学長選考はすでに行われましたか。行われた場合はあわせてその時期をお答えください。

1. 行われた	64.2	2. 行われていない	35.8																
1月	5.3	2月	2.6	3月	9.2	4月	38.2	5月	7.9	6月	5.3	7月	5.3	8月	3.9	9月	5.3	10月	9.2
11月	5.3	12月	2.6																

1と回答した大学にうかがいます。その新しい規定による選考に関して問題になった点がありましたか。また、その問題にどのように対処しましたか（する予定ですか）。それぞれ具体的にお答えください。

問題点	
問題への対処	

(3) 国立大学法人法によれば、「学長又は理事を学長選考会議の委員に加えることができる」とありますが、これに該当する委員はいますか。いる場合は、あわせてその人数をお答えください。

1. いない	41.0	2. いる	59.0 (学長0名71.4 1名28.6・理事1名20.8 2名25.0 3名33.3 4名14.6 5名6.3)
--------	------	-------	------------------------------------------------------------

(4) 学長選考会議の議長は、学外・学内のどちらの委員がつとめていますか。

1. 学外	63.4	2. 学内	36.6
-------	------	-------	------

問10 意思決定における役割

(1) 貴大学では、全学的意思決定の過程で、下記のそれぞれの役職あるいは組織が果たす役割は、法人化前と比較してどのように変化しましたか。a～jそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください（下記の役職・組織が法人化前後とも存在する場合についてのみお答えください）。

1. 年度計画の作成における役割

	大きく なった	やや大きく なった	変化 なし	やや小さく なった	小さく なった
a. 学長	72.0	23.2	4.9	0.0	0.0
b. 理事（旧副学長）	72.0	25.6	2.4	0.0	0.0
c. 役員会（旧執行部）	61.3	33.8	3.8	0.0	1.3
d. 経営協議会（旧運営諮問会議）	32.9	40.2	25.6	1.2	0.0
e. 教育研究評議会（旧評議会）	16.7	23.1	39.7	16.7	3.8
f. 部局長会議（現在も置いている場合）	3.7	9.3	55.6	20.4	11.1
g. 部局教授会	1.3	11.5	51.3	24.4	11.5
h. 全学委員会	11.4	26.6	31.6	20.3	10.1
i. 学長補佐（法人化前から置いている場合）	21.4	42.9	33.3	2.4	0.0
j. 事務局長（現在も置いている場合）	19.7	36.4	34.8	7.6	1.5

2. 新規概算・特別教育研究経費要求案の作成における役割

	大きく なった	やや大きく なった	変化 なし	やや小さく なった	小さく なった
a. 学長	76.2	19.0	4.8	0.0	0.0
b. 理事（旧副学長）	69.0	26.2	4.8	0.0	0.0
c. 役員会（旧執行部）	56.6	31.3	12.0	0.0	0.0
d. 経営協議会（旧運営諮問会議）	20.2	36.9	38.1	3.6	1.2
e. 教育研究評議会（旧評議会）	5.0	16.3	51.3	17.5	10.0
f. 部局長会議（現在も置いている場合）	3.6	10.7	55.4	10.7	19.6
g. 部局教授会	0.0	6.4	57.7	17.9	17.9
h. 全学委員会	6.4	11.5	50.0	12.8	19.2
i. 学長補佐（法人化前から置いている場合）	16.7	35.7	45.2	0.0	2.4
j. 事務局長（現在も置いている場合）	23.9	34.3	38.8	1.5	1.5

3. 学内の予算配分方針の作成における役割

	大きく なった	やや大きく なった	変化 なし	やや小さく なった	小さく なった
a. 学長	77.1	20.5	2.4	0.0	0.0
b. 理事（旧副学長）	66.3	30.1	3.6	0.0	0.0
c. 役員会（旧執行部）	65.4	28.4	6.2	0.0	0.0
d. 経営協議会（旧運営諮問会議）	22.0	52.4	23.2	2.4	0.0
e. 教育研究評議会（旧評議会）	5.0	13.8	48.8	21.3	11.3
f. 部局長会議（現在も置いている場合）	7.0	14.0	49.1	14.0	15.8
g. 部局教授会	0.0	3.8	57.7	23.1	15.4
h. 全学委員会	8.9	15.2	43.0	13.9	19.0
i. 学長補佐（法人化前から置いている場合）	9.5	26.2	57.1	4.8	2.4
j. 事務局長（現在も置いている場合）	23.9	37.3	32.8	4.5	1.5

(2) 法人化後の上記意思決定過程に参与している役職・組織を、影響力の大きい順に下記の1～11のうちから3つお答えください。

	年度計画			特別教育研究経費等の要求案			学内の予算配分方針		
	1 番目	2 番目	3 番目	1 番目	2 番目	3 番目	1 番目	2 番目	3 番目
1. 学長	55.4	17.3	5.0	57.8	20.0	5.1	61.4	16.0	6.4
2. 理事	16.9	38.3	12.5	8.4	43.8	14.1	6.0	35.8	20.5
3. 役員会	16.9	18.5	32.5	15.7	18.8	32.1	20.5	22.2	23.1
4. 役員会の機能を充実・強化した組織（拡大役員会等）	3.6	7.4	7.5	7.2	2.5	10.3	4.8	8.6	6.4
5. 経営協議会	0.0	1.2	6.3	0.0	2.5	5.1	0.0	4.9	14.1
6. 教育研究評議会	0.0	4.9	7.5	1.2	1.3	7.7	1.2	1.2	3.8
7. 部局長会議（現在も置いている場合）	0.0	2.5	3.8	0.0	6.3	2.6	0.0	6.2	5.1
8. 部局教授会	1.2	3.7	8.8	3.6	0.0	9.0	0.0	0.0	5.1
9. 全学委員会	6.0	3.7	5.0	1.2	1.3	7.7	3.6	3.7	10.3
10. 学長補佐等	0.0	0.0	6.3	0.0	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0
11. 事務局長（現在も置いている場合）	0.0	2.5	5.0	4.8	1.3	5.1	2.4	1.2	5.1

問11 学長の役割

学長の役割についてうかがいます。現在、ご自身が学長として重視している役割はどのようなものですか。a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視している	やや重視している	あまり重視していない	重視していない
a. リーダー的役割	81.0	19.0	0.0	0.0
b. 行政者的役割	52.4	38.1	9.5	0.0
c. 調整者的役割	46.4	41.7	11.9	0.0
d. 大学の顔的役割	61.9	27.4	10.7	0.0

- a. リーダー的役割（大学経営の責任者として強いリーダーシップを発揮する）
- b. 行政者的役割（大学の目標・計画を着実に実行する役割を担う）
- c. 調整者的役割（各部局等の意見を調整し、全学の方針をまとめ上げる）
- d. 大学の顔的役割（大学の顔として対外的な関係に中心的な役割を果たす）

問12 意思決定と合意形成

(1) 貴大学において、全学的に重要な事項に関する意思決定の際の手続きと速度は、法人化前と比較して、総じてどのように変化しましたか。a, bそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a. 意思決定の手続きは	簡素化された	79.8	17.9	2.4	複雑化した
b. 意思決定の速度は	速くなった	79.8	20.2	0.0	遅くなった

(2) 貴大学において、全学的に重要な事項に関する意思決定に際して、本部と部局との間の合意形成の手続き、速度、合意の水準は、法人化前と比較して、総じてどのように変化しましたか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a. 合意形成の手続きは	簡素化された	66.3	32.5	1.3	複雑化した
b. 合意形成の速度は	速くなった	72.5	26.3	1.3	遅くなった
c. 合意の水準は	強まった	42.5	53.8	3.8	弱まった

2 文部科学省との関係

問13 目標・計画と評価

(1) 法人化にともなって求められるようになった下記の事項は、貴大学にとってどのような効果を持っていると思いますか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

中期目標・計画の作成は

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	57.1	32.1	8.3	2.4	0.0
b. 教育・研究活動の活性化に.....	47.6	40.5	8.3	3.6	0.0
c. 社会貢献活動の拡充に.....	40.5	47.6	8.3	3.6	0.0

実績報告書の作成は

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	45.2	42.9	8.3	3.6	0.0
b. 教育・研究活動の活性化に.....	35.7	42.9	17.9	3.6	0.0
c. 社会貢献活動の拡充に.....	32.1	51.2	14.3	2.4	0.0

法人評価委員会による評価は

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	44.0	45.2	6.0	4.8	0.0
b. 教育・研究活動の活性化に.....	33.3	42.9	17.9	6.0	0.0
c. 社会貢献活動の拡充に.....	33.3	41.7	19.0	6.0	0.0

(2) 法人化によって求められるようになった上記の事項について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

メリット	
デメリット	

問14 運営費交付金

(1) 用途を各大学で自由に決定できる運営費交付金制度について、貴大学としてはどのようにお考えですか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	42.7	40.2	13.4	3.7	0.0
b. 教育・研究の活性化に.....	31.7	36.6	18.3	9.8	3.7
c. 社会貢献活動の拡充に.....	26.8	35.4	26.8	8.5	2.4

(2) 交付金制度について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

メリット	
デメリット	

問15 授業料

(1) 一定の範囲内で授業料の設定を可能にした現行の授業料設定方式について、どのように感じておられますか。

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 現行の設定方式でよい | 61.5 |
| 2. 大学による裁量の余地を広げるべきだ | 29.5 |
| 3. 大学による裁量の余地を狭めるべきだ | 9.0 |

(2) 現行の授業料設定方式について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

メリット	
デメリット	

問16 法人化についての評価

法人化は総じて下記の点について、プラス・マイナスどちらの効果があったと思いますか。
a～o それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 貴大学にとって

	大いに プラス	やや プラス	どちらとも いえない	やや マイナス	大いに マイナス
a. 大学の個性化に.....	42.2	49.4	8.4	0.0	0.0
b. 大学の競争力向上に.....	31.3	48.2	20.5	0.0	0.0
c. 管理運営の合理化・効率化に.....	36.1	59.0	4.8	0.0	0.0
d. 組織の活性化に.....	31.3	59.0	9.6	0.0	0.0
e. 財務の健全性に.....	14.8	38.3	28.4	11.1	7.4
f. 全学的な合意形成に.....	8.5	50.0	37.8	3.7	0.0
g. 大学の自主性・自律性に.....	38.6	44.6	13.3	3.6	0.0
h. 教員の意識改革に.....	22.0	64.6	13.4	0.0	0.0
i. 職員の意識改革に.....	17.1	68.3	14.6	0.0	0.0
j. 学生の意識改革に.....	1.2	17.1	80.5	1.2	0.0
k. 大学の一体感の形成に.....	6.0	56.6	37.3	0.0	0.0
l. 教育活動の活性化に.....	22.0	52.4	22.0	3.7	0.0
m. 研究活動の活性化に.....	20.7	53.7	19.5	4.9	1.2
n. 社会貢献活動の拡充に.....	34.1	53.7	11.0	1.2	0.0
o. 学生支援の活性化に.....	20.7	56.1	22.0	1.2	0.0

2. 国立大学全体にとって

	大いに プラス	やや プラス	どちらとも いえない	やや マイナス	大いに マイナス
a. 大学の個性化に.....	37.0	51.9	11.1	0.0	0.0
b. 大学の競争力向上に.....	30.0	43.8	23.8	2.5	0.0
c. 管理運営の合理化・効率化に.....	27.5	57.5	15.0	0.0	0.0
d. 組織の活性化に.....	26.3	57.5	15.0	1.3	0.0
e. 財務の健全性に.....	16.3	36.3	27.5	12.5	7.5
f. 全学的な合意形成に.....	6.3	37.5	50.0	6.3	0.0
g. 大学の自主性・自律性に.....	25.0	52.5	21.3	1.3	0.0
h. 教員の意識改革に.....	15.0	65.0	20.0	0.0	0.0
i. 職員の意識改革に.....	16.3	63.8	20.0	0.0	0.0
j. 学生の意識改革に.....	1.3	13.8	83.8	1.3	0.0
k. 大学の一体感の形成に.....	6.3	45.0	47.5	1.3	0.0
l. 教育活動の活性化に.....	16.3	55.0	23.8	5.0	0.0
m. 研究活動の活性化に.....	17.5	52.5	21.3	7.5	1.3
n. 社会貢献活動の拡充に.....	20.0	66.3	12.5	1.3	0.0
o. 学生支援の活性化に.....	12.5	52.5	33.8	1.3	0.0

3 自由回答とプロフィール

問17 自由回答

その他法人化に関して感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問18 学長ご自身のプロフィール

最後に、学長ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢（ ）歳
- b. 現職に就いたのは、平成（ ）年（ ）月から
- c. 最終出身大学（ ）大学（ ）学部
- d. 最終出身大学院（ ）大学院（ ）研究科
- e. これまでの部局長・役職経験（部局・役職名等）

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

4 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問19 役員会等

(1) 問1(役員会)に関連して、平成16年度における貴大学の役員会の構成員数とおおよその開催回数についてお答えください。

構成員数	名(うち外部 名)	開催回数	回
------	-----------	------	---

(2) 問1の(4)(役員会の機能を充実・強化するための組織)に関連して、平成16年度における当該組織の名称、構成員数、開催回数、構成員の役職名についてお答えください。

	組織名称	構成員数	開催回数	構成員の役職名
(1)		名	回	
(2)		名	回	
(3)		名	回	
(4)		名	回	
(5)		名	回	

問20 経営協議会

問2(経営協議会)に関連して、平成16年度における経営協議会の構成員数とおおよその開催回数をお答えください。

構成員数	名(うち外部 名)	開催回数	回
------	-----------	------	---

問21 教育研究評議会

問3(教育研究評議会)に関連して、平成16年度における教育研究評議会の構成員数とおおよその開催回数についてお答えください。

構成員数	名	開催回数	回
------	---	------	---

問22 部局長会議

問4の(2)(法人化前の部局長会議に相当する組織)に関連して、平成16年度における当該組織の構成員数とおおよその開催回数についてお答えください。

構成員数	名	開催回数	回
------	---	------	---

問23 全学委員会

問5の(1)（全学委員会の数）に関連して、法人化前後で貴大学における全学委員会の数はどのように変化しましたか。委員会の数をお答えください。

平成15年度		平成16年度		平成17年度	
--------	--	--------	--	--------	--

問24 企画室等の実務的組織

問7(企画室等の実務的組織)において「1.設置している」と回答した大学にうかがいます。当該組織の名称、スタッフ数（兼任も含む）をお答えください。あわせて組織の長をつとめる方の役職について、あてはまる番号に○をつけてください。

組織名称	スタッフ数（兼任含む）	組織の長の役職
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。

<担当理事用>

国立大学法人の
財務・経営の実態に関する
全国調査
(Ⅱ. 財務)

2006年1月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、**財務担当の理事の方を対象**としたものです。理事の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、**複数回答・単一回答の指示に注意**してご回答ください。
3. 回答は、**調査票に直接記入していただくか、または同封の回答用フロッピーディスク内のファイルに直接入力**してください。
4. 記入の済んだ調査票もしくは回答用フロッピーディスクは、同封の返信用封筒に入れて、他の3つの調査票といっしょに**2月6日までにご返送ください**。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

以下附属病院に関する事項を除いて、お答えください。

1 資金の獲得

問1 外部資金

(1) 下記の **a～j** に示した自己収入や外部資金等の中で、**現在**貴大学が全学的に重視しているもの**3つ**に○をつけてください。

	現在	今後
a. 科学研究費補助金（文部科学省・日本学術振興会）	94.0	34.5
b. 共同研究	33.3	4.8
c. 受託研究	23.8	7.1
d. 寄附金	26.2	19.0
e. 21世紀COE（卓越した研究拠点）プログラム	35.7	4.8
f. 各種GPプログラム	59.5	23.8
g. 地域貢献特別支援事業費	7.1	0.0
h. 他省庁科研費（厚生労働省等）	6.0	0.0
i. その他（ ）	8.3	6.0
j. 特に重視しているものはない	0.0	0.0

(2) 上記 **a～i** のうち、貴大学が経営戦略上、**今後**特に重視したいと思うものを**1つ**選び、下の欄内に記号を記入してください。

(1)を参照

問2 特別教育研究経費・新規組織整備

(1) 法人化後の概算要求についてうかがいます。特別教育研究経費・新規組織整備の獲得に向けて、全学レベルで特別な取組をしていますか（例：特別教育研究経費・新規組織整備の獲得に向けた委員会等の設置や、学内での重点配分による実績づくりなど）。

	している	していない
a. 特別教育研究経費.....	78.6	21.4
b. 新規組織整備.....	69.9	30.1

(2) **a, b**それぞれについて、**1**と回答した大学にうかがいます。特別な取組とはどのようなものですか。

a.特別教育研究経費について	
b.新規組織整備について	

(3) 特別教育研究経費・新規組織整備の予算要求にあたって、優先順位を決める際に、下記の点をどの程度重視していますか。下記の **a～k**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視した	やや重視した	どちらともいえない	あまり重視しなかった	重視しなかった	最も重視
a. 高等教育・学術政策の一般的動向.....	63.1	34.5	1.2	1.2	0.0	9.8
b. 学生・親からのニーズ.....	10.8	37.3	39.8	9.6	2.4	0.0
c. 企業等からのニーズ.....	11.0	43.9	32.9	8.5	3.7	2.4
d. 地域からのニーズ.....	41.5	40.2	11.0	7.3	0.0	0.0
e. 他大学の動向.....	0.0	17.1	50.0	22.0	11.0	0.0
f. 他大学の予算獲得の実績.....	0.0	21.3	43.8	23.8	11.3	0.0
g. 中期目標・計画等との整合性.....	83.3	13.1	3.6	0.0	0.0	23.2
h. 大学にとっての要求事項の重要性.....	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0	61.0
i. 部局間のバランスへの配慮.....	1.2	16.0	44.4	21.0	17.3	0.0
j. 文部科学省との事前協議の結果.....	43.4	43.4	13.3	0.0	0.0	2.4
k. その他（ ）.....	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 上記 a～kのうち、最も重視しているものを1つ選び、下の欄内に記号を記入してください。

(3)を参照

(5) 概算要求時代と比べて、法人化後、貴大学での新規予算（特別教育研究経費・新規組織整備）の獲得は総じて容易になったとお考えですか。

	容易になった	どちらともいえない	困難になった
a. 特別教育研究経費.....	7.1	64.3	28.6
b. 新規組織整備.....	15.5	61.9	22.6

問3 COE・GPの獲得

COEやGPなどの競争的資金の獲得についてうかがいます。これらの獲得に向けて、全学レベルで特別な取組をしていますか(例:COE・GPの獲得に向けた委員会等の設置や、学内での重点配分による実績づくりなど)。

1. している 88.1 2. していない 11.9



1と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか。

問4 科学研究費補助金

(1) 文部科学省・日本学術振興会の科研費獲得に関して、貴大学が現在、全学的に実施している取組について、あてはまる記号**すべてに○**をつけてください。

(2) 上記 a～mのうち、申請件数、採択件数、獲得総額それぞれの増加に効果をあげていると思われるものの記号を、**すべて**あげてください。また、このうち最も効果が高いと思われるものの記号を、**1つ**だけあげてください(なお有効な取組がないと考える場合は「×」と答えてください)。

	(1)現在の取組		(2)申請件数		(2)採択件数		(3)獲得総額	
	全て	1つ	全て	1つ	全て	1つ	全て	1つ
a. 募集についての案内をホームページに掲載	79.8	48.2	0.0	13.6	0.0	16.0	0.0	
b. 募集についての案内をメール等で全教員に通知	85.7	62.7	9.8	14.8	0.0	17.3	0.0	
c. 事務局(研究協力課等)で募集内容を検討し、関係のある教員へ通知	25.0	9.6	0.0	4.9	0.0	4.9	1.3	
d. 科研費関係者(文部科学省等)による説明会の開催	69.0	50.6	4.9	34.6	5.0	25.9	1.3	
e. 学内の科研費審査委員経験者による説明会の開催	59.5	44.6	3.7	45.7	12.5	34.6	8.9	
f. 学内の科研費採択実績を持つ教員による説明会の開催	64.3	48.2	7.3	49.4	26.3	42.0	15.2	
g. 学長・部局長等による申請書の内容チェックと指導	22.6	6.0	0.0	19.8	11.3	17.3	10.1	
h. 事務局(研究協力課等)による申請書の不備等のチェック	94.0	25.3	0.0	63.0	10.0	45.7	7.6	
i. 学長・部局長等による教員に対する科研費申請の要請	91.7	79.5	52.4	30.9	10.0	34.6	16.5	
j. 学長・部局長等による科研費非申請者に対するヒアリングの実施(非申請理由の聴取等)	11.9	8.4	1.2	1.2	0.0	2.5	0.0	
k. インセンティブ制度(科研費申請者に研究費等の上乗せなど)の導入	41.7	28.9	7.3	14.8	2.5	17.3	6.3	
l. 各教員の科研費獲得状況についてのデータベースの作成と公開	29.8	12.0	0.0	6.2	0.0	8.6	0.0	
m. その他()	19.0	10.8	4.9	11.1	2.5	8.6	0.0	
有効な取組はない			8.5		20.0		32.9	

問5 受託・共同研究、寄付金、知財関連収入

(1) 受託研究・共同研究等の外部資金についてうかがいます。法人化後新たに、これらの獲得に向けて、全学レベルで特別な取組をしていますか（例：受託研究の獲得者に追加の研究費配分を行うなど）。**a～c**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	している	していない
a. 受託研究・共同研究.....	75.9-----	24.1
b. 寄付金.....	51.2-----	48.8
c. 知財関連収入.....	72.3-----	27.7

(2) **a～c**それぞれについて、**1**と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか。

a.受託研究・共同研究 について	
b.寄付金 について	
c.知財関連 について	

問6 学生納付金

(1) 学生納付金についてうかがいます。法人化後、その増収をはかるために、全学レベルで特別な取組をしていますか。**a, b**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	している	していない
a. 授業料・入学金収入.....	46.4-----	53.6
b. 受験料収入.....	56.0-----	44.0

(2) **a, b**それぞれについて、**1**と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか（退学・休学・未納を防ぐ全学的な方策等も含む）。

a.授業料・入学金収入 について	
b.受験料収入 について	

(3) 授業料についてうかがいます。貴大学では標準授業料以外の額を設定していますか。**a, b**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	設定して いない	設定する 予定	設定して いる	設定したが 変更を予定
a. 学部.....	97.5-----	0.0-----	1.2-----	1.2
b. 大学院.....	89.3-----	0.0-----	9.5-----	1.2

問7 授業料減免・大学独自奨学金

(1) 貴大学では、法人化後に授業料の減免に関する方針を変更しましたか。

1. 変更した 31.3 2. 変更を予定している 10.8 3. 従来通り 57.8

1もしくは2と回答した大学にうかがいます。学部・大学院それぞれの授業料減免の方針変更に関して、a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	学部について			大学院について		
	学力を重視	経済状況を重視	同程度に重視	学力を重視	経済状況を重視	同程度に重視
a. 減免の基準	17.6	44.1	38.2	20.0	48.6	31.4
b. 減免の総額	増やす方針 32.4	従来通り 64.7	減らす方針 2.9	増やす方針 34.3	従来通り 62.9	減らす方針 2.9
c. 一人当たり減免額	2.9	70.6	26.5	2.9	65.7	31.4
d. 減免の人数	58.8	35.3	5.9	62.9	34.3	2.9

(2) 貴大学には、大学による独自の奨学金制度（大学が確保した資金や、独自に設立した基金による奨学金制度）がありますか。

1. 法人化以前からある 17.5 2. 法人化後に新設 15.0 3. 新設を予定 37.5 4. 新設する予定はない 30.0

1～3と回答した大学にうかがいます。大学独自奨学金の今後の方針に関して、a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	学部について			大学院について		
	学力を重視	経済状況を重視	同程度に重視	学力を重視	経済状況を重視	同程度に重視
a. 給付の基準	53.5	25.6	20.9	55.6	15.6	28.9
b. 給付の総額	増やす方針 30.0	従来通り 70.0	減らす方針 0.0	増やす方針 30.3	従来通り 69.7	減らす方針 0.0
c. 一人当たり給付額	16.1	80.6	3.2	21.2	78.8	0.0
d. 給付の人数	36.7	63.3	0.0	36.4	60.6	3.0

(3) 授業料免除や大学独自奨学金について、特に感じている点がありましたら、自由にお答えください。

問8 その他の自己収入

その他、貴大学が上記以外の自己収入をあげるために行っている独自の取組がありましたら、具体的にお答えください。

2 資金の配分

問9 予算編成

(1) 貴大学では、各部局への予算額の内示をいつ行いましたか。平成17年度予算についてお答えください。

1月 3.6 2月 10.7 3月 40.5 4月 27.4 5月 8.3 6月 6.0 7月 1.2 12月 2.4

(2) 貴大学では、**現在**学内予算の編成にあたってどのような方針をとっていますか。

1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 58.5
 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 37.8
 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 3.7

第V部 資料編

(3) 貴大学では、**今後**学内予算の編成にあたってどのような方針をとりたいと考えていますか。

- 1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 27.7
- 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 60.2
- 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 12.0

(4) 貴大学では、学内の予算編成にあたって各部局等に予算要求案の提出を求めていますか。

- 1. 予算要求案の提出を求めている 32.1
- 2. 一部の経費について予算要求案の提出を求めている 53.6
- 3. 予算要求案の提出は求めているない 14.3

(5) 現在の学内予算編成に、下記の役職・組織はどの程度関与していますか。a～kそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(6) 上記a～kのうち、最終的な予算の決定に大きな影響力を与えていると思う役職・組織を、その影響力の大きさの順に**3つ**選び、下の欄内に記号を記入してください。

	大きく関与している	ある程度関与している	あまり関与していない	ほとんど関与していない	該当なし	最終決定に影響		
						1番目	2番目	3番目
a. 学長	95.2	4.8	0.0	0.0	0.0	69.0	11.9	6.0
b. 理事	89.3	9.5	1.2	0.0	0.0	4.8	34.5	20.5
c. 役員会	79.5	19.3	1.2	0.0	0.0	20.2	28.6	24.1
d. 役員会の機能を充実・強化した組織（拡大役員会等）	24.1	19.3	6.0	2.4	48.2	1.2	2.4	6.0
e. 経営協議会	54.2	41.0	3.6	1.2	0.0	0.0	13.1	14.5
f. 教育研究評議会	8.3	34.5	34.5	21.4	1.2	0.0	0.0	1.2
g. 部局長会議	10.0	22.5	20.0	13.8	33.8	0.0	0.0	3.6
h. 部局教授会	1.2	12.0	27.7	44.6	14.5	0.0	1.2	0.0
i. 全学委員会（予算委員会・財務委員会など）	37.3	18.1	3.6	4.8	36.1	4.8	4.8	12.0
j. 学長補佐	8.4	20.5	16.9	19.3	34.9	0.0	0.0	1.2
k. 事務局長	56.0	20.2	3.6	3.6	16.7	0.0	3.6	8.4
l. その他								2.4

(7) 貴大学では、予算配分にあたって、**現在**または**今後**、下記の経費（外部資金を除く運営費交付金対象分）のいずれをより重視していますか。

現在					今後				
A	Aをより重視	どちらともいえない	Bをより重視	B	A	Aをより重視	どちらともいえない	Bをより重視	B
本部経費	12.0	72.3	15.7	部局経費	本部経費	13.4	69.5	17.1	部局経費
人件費	52.4	40.5	7.1	物件費	人件費	50.6	36.1	13.3	物件費
教員人件費	35.7	64.3	0.0	職員人件費	教員人件費	31.7	68.3	0.0	職員人件費
管理的経費	2.4	29.8	67.9	教育研究経費	管理的経費	4.8	20.5	74.7	教育研究経費
教育経費	36.9	54.8	8.3	研究経費	教育経費	53.0	43.4	3.6	研究経費

(8) 貴大学では、効率化係数等への対応について、下記のいずれの方針をより重視していますか。

A	Aをより重視	ともに重視	Bをより重視	B
収入増により対応	1.2	54.8	44.0	経費節減により対応

(9) 貴大学では、中期目標・計画の達成と関連づけた予算編成ができていますか。

できていると思う	ある程度できていると思う	どちらとも言えない	あまりできていない	できていない
11.9	76.2	9.5	2.4	0.0

問10 本部による経費の管理

- (1) 貴大学では、下記の経費について本部で全学的な観点から管理を行っていますか。
a ~ e それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

行っている 行っていない

- a. 常勤教員の人件費.....97.6----- 2.4
 b. 常勤職員の人件費.....98.8----- 1.2
 c. 非常勤教員の人件費.....81.7----- 18.3
 d. 非常勤職員の人件費.....73.2----- 26.8
 e. 光熱水費.....64.6----- 35.4
 f. その他(具体的に:)

- (2) 貴大学では、部局に資金を配分する際に、予算の積算内訳を示していますか。
 1. 示している 54.3 2. 一部示している 38.3 3. 示していない 7.4
- (3) 貴大学では、部局に配分した資金について、費目別の用途を指定していますか。
 1. 用途指定していない 17.5 2. 一部用途指定している 65.0 3. すべて用途指定している 17.5

問11 本部・部局間資金配分

- (1) 貴大学では、法人化後、学内資金配分の方法を変更しましたか。
 1. 変更していない 12.3 2. 一部変更した 54.3 3. 大幅に変更した 33.3
- (2) 貴大学では、今後資金配分方法を変更する予定はありますか。
 1. 変更する予定はない 40.0 2. 変更を予定している 60.0
- (3) 貴大学では、本部経費(重点的・競争的配分経費など、全学的に必要な経費として本部で管理している経費を含む)と部局経費(部局ごとに必要とし、部局で管理している経費)の配分(額の決定)にあたって、下記のいずれにより近い考え方をとっていますか。

A	Aを より重視	どちらとも 言えない	Bを より重視	B
本部の必要経費 を優先的に確保	33.8	53.8	12.5	部局の必要経費 を優先的に確保

- (4) 法人化前はどのような考えをとっていましたか。
- | A | Aを
より重視 | どちらとも
言えない | Bを
より重視 | B |
|--------------------|------------|---------------|------------|--------------------|
| 本部の必要経費
を優先的に確保 | 20.0 | 65.0 | 15.0 | 部局の必要経費
を優先的に確保 |

- (5) 貴大学では、部局において当初配分予算に執行残が生じた場合、下記のいずれに近い取り扱いをしていますか。
 1. 残額の全額を翌年度の部局経費に上乗せ配分する 39.0
 2. 残額の一部を翌年度の部局経費に上乗せ配分する 27.3
 3. 残額は本部経費とし、部局経費に上乗せ配分しない 33.8
- (6) 貴大学では、部局への教育・研究に関わる資金配分に際して、法人化後も旧来の教官当・学生当の積算単価(基盤校費導入以前のもの)を利用していますか。
 1. 利用している 21.0 2. 修正して利用している 30.9 3. 利用していない 48.1
- (7) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局の自己収入(授業料や受験料など)の額を関連づけていますか。
 1. 関連づけている 25.6 2. 今後関連づける予定 28.0 3. 関連づける予定はない 46.3
- (8) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局が獲得した外部資金(科学研究費補助金や受託・共同研究など)の額を関連づけていますか。
 1. 関連づけている 23.2 2. 今後関連づける予定 18.3 3. 関連づける予定はない 58.5

問12 予算の配分額

(1) 貴大学では、法人化前と比較して、下記の各経費の予算額は概ねどのように変化しましたか。a～lそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	大きく 増加	やや 増加	どちらとも いえない	やや 減少	大きく 減少
a. 全学共通経費	13.1	33.3	17.9	29.8	6.0
b. 学長等による裁量的経費.....	20.5	30.1	31.3	14.5	3.6
c. 全学的な重点・競争的配分経費.....	28.9	42.2	25.3	3.6	0.0
d. 全学的な施設整備費.....	4.8	21.4	34.5	29.8	9.5
e. 全学的な施設の維持・保全費.....	3.6	17.9	45.2	29.8	3.6
f. 部局共通経費	0.0	13.9	54.2	25.0	6.9
g. 部局長等による裁量的経費.....	7.0	31.0	49.3	9.9	2.8
h. 部局における重点・競争的配分経費.....	1.4	22.5	63.4	11.3	1.4
i. 部局における施設整備費.....	0.0	0.0	56.3	32.4	11.3
j. 部局における施設の維持・保全費.....	0.0	5.6	62.0	23.9	8.5
k. 各教員の基盤的な教育費.....	0.0	3.6	46.4	46.4	3.6
l. 各教員の基盤的な研究費.....	0.0	0.0	23.8	59.5	16.7

(2) 本年度の下記の各経費の予算額について、どのようにお考えですか。a～lそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(3) 上記a～lのうち、配分額が最も不十分だったと思われる経費を1つ選び、下の欄内に記号を記入してください。

	十分	まあ 十分	どちらとも いえない	やや 不十分	不十分	最も 不十分
a. 全学共通経費	2.4	26.2	34.5	29.8	7.1	1.2
b. 学長等による裁量的経費.....	1.2	21.4	25.0	40.5	11.9	9.6
c. 全学的な重点・競争的配分経費.....	0.0	21.4	26.2	44.0	8.3	7.2
d. 全学的な施設整備費.....	0.0	3.6	15.5	36.9	44.0	47.0
e. 全学的な施設の維持・保全費.....	0.0	8.3	19.0	39.3	33.3	14.5
f. 部局共通経費	0.0	4.1	57.5	32.9	5.5	1.2
g. 部局長等による裁量的経費.....	1.4	8.3	43.1	37.5	9.7	1.2
h. 部局における重点・競争的配分経費.....	1.4	4.2	52.8	34.7	6.9	1.2
i. 部局における施設整備費.....	0.0	0.0	35.2	39.4	25.4	2.4
j. 部局における施設の維持・保全費.....	0.0	0.0	39.4	42.3	18.3	0.0
k. 各教員の基盤的な教育費.....	0.0	9.5	26.2	53.6	10.7	0.0
l. 各教員の基盤的な研究費.....	1.2	8.3	20.2	53.6	16.7	14.5

問13 財務会計制度

(1) 貴大学では、新しい財務会計制度の導入によって事務量が全般的にどう変わったと思いますか。

増えた	やや増えた	変化なし	やや減った	減った
66.7	29.8	1.2	2.4	0.0

(2) 貴大学では、新しい財務会計制度が、全学的な意思決定に有効に活用されていると思いますか。

活用 されている	ある程度 活用されている	あまり活用 されていない	活用 されていない
1.2	61.9	33.3	3.6

(3) 貴大学では、新しい財務会計制度を、教職員がどの程度理解しているとお考えですか。

十分に 理解している	ある程度 理解している	あまり 理解していない	ほとんど理解 していない
0.0	28.6	64.3	7.1

5 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問17 特別教育研究経費・新規組織整備の申請・採択件数

問2（特別教育研究経費・新規組織整備）に関連して、平成15年度（14年度作業分）ならびに17年度（16年度作業分）における特別教育研究費・新規組織整備（15年度は新規概算要求）の申請・採択件数をお答えください。

	申請件数		採択件数	
平成15年度 (平成14年度作業分)	新規概算要求 件		新規概算要求 件	
平成17年度 (平成16年度作業分)	特別教育 件	新規組織 件	特別教育 件	新規組織 件

問18 COE・GPの申請・採択件数

問3（COE・GPの獲得）に関連して、平成17年度採択決定分までのCOE・GPの申請件数（延べ件数）・採択件数をお答えください。

	申請件数（延べ件数）	採択件数
COE	件	件
GP	件	件

問19 科学研究費補助金の申請・採択件数

問4（科学研究費補助金）に関連して、下記の各年度の科研費申請件数・採択件数を、文部科学省（学術振興会分含む）・他省庁に分けてそれぞれお答えください。

	申請件数		採択件数	
平成15年度新規分 (14年中に申請)	文部科学省	件	文部科学省	件
	/		他省庁	件
平成17年度新規分 (16年中に申請)	文部科学省	件	文部科学省	件
	/		他省庁	件

問20 学生納付金

問6の(3)（授業料の設定）に関連してa（学部）、b（大学院）それぞれについて、「2. 設定する予定」「3. 設定している」「4. 設定したが変更を予定」と回答した大学にうかがいます。その設定の目的、実施（予定）年度、授業料の額をお答えください。なお、標準授業料を上回る（もしくは下回る）授業料を設定する場合は、その部分の用途（もしくは代替財源）もあわせてお答えください。

	目的	実施（予定）年度	授業料の額	用途／代替財源
a.学部 について		平成 年度から		
b.大学院 について		平成 年度から		

問21 予算編成

- (1) 問9(予算編成)に関連して、貴大学では、予算をどのようなプロセスで決定していますか。具体的にお答えください。

(例) 4月上旬：本省より交付金交付→4月中旬：運営戦略会議により基本方針作成→4月下旬：各学部等から会計課へ所要額の提出→5月上旬：会計課が前年度実績等に基づき配分案作成→5月中旬：役員会により検討→5月下旬：経営協議会で審議→6月上旬：学長決定→6月中旬：教育研究評議会に紹介

--

- (2) 問9(予算編成)に関連して、貴大学では、どのような予算配分の単位(セグメント)を設定していますか。具体的にお答えください。

--

問22 本部・部局間資金配分

- (1) 問11(本部・部局間資金配分)に関連して、学内での資金配分方法が明確になる予算配分方針等の資料を、本調査票の返送の際に添付してください(できれば事務局経費や各部局経費、各部局の収入額も明らかになるものをお願いします)。

- (2) 問11の(1)(法人化後の学内資金配分の方法)に関連して、「**2. 一部変更した**」「**3. 大幅に変更した**」と回答した大学は、平成14年度時点の学内での資金配分方法が明確になる予算配分方針等の資料を、本調査票の返送の際に添付してください(できれば事務局経費や各部局経費、各部局の収入額も明らかになるものをお願いします)。

- (3) 問11の(7)(部局配分経費と自己収入との関連づけ)に関連して、「**1. 関連づけている**」もしくは「**2. 今後関連づける予定**」と回答した大学にうかがいます。その具体的内容をお答えください。

--

- (4) 問11の(8)(部局配分経費と獲得した外部資金との関連づけ)に関連して、「**1. 関連づけている**」もしくは「**2. 今後関連づける予定**」と回答した大学にうかがいます。その具体的内容をお答えください。

--

問23 予算の配分額

- (1) 問12(予算の配分額)に関連して、貴大学では、各部局への配分額の算定にあたってどのような費目を設定していますか。主要な費目名を**最大10個まで**具体的にお答えください(部局管理経費、教育経費、研究経費、教育研究支援経費、予備費など)。

第V部 資料編

(2) 問12(予算の配分額)に関連して、貴大学の平成17年度における下記の経費は、法人化前と比較してどう変化しましたか。a～eそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。

a.学長裁量経費 (学長個人の裁量により配分可能な経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
b.部局長裁量経費 (部局長個人の裁量により配分可能な経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
c.戦略的配分経費 (役員会等の合議を経て戦略的に配分する経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
d.学内公募経費 (学内公募おこなったうえで、配分する経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
e.傾斜配分経費 (一定の算定ルールの下で傾斜配分する経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし

問24 経費の節減

問14の(1)(経費節減のための全学的方策)で、「1.もっている」と回答した大学にうかがいます。それぞれの項目ごとに具体的内容をお答えください。

a.一般管理費全般 について	
b.人件費全般 について	
c.非常勤教員 の人件費 について	
d.非常勤職員 の人件費 について	
e.旅費 について	
f.光熱水費 について	
g.物品購入費 について	
h.その他 について	

問25 間接経費とオーバーヘッド

間接経費・オーバーヘッドの対象経費、徴収率、徴収額、配分比率をお答えください。

		対象経費		徴収率	徴収額	配分比率	
間接経費	平成16年度	競争的資金	科学研究費補助金 (文部科学省/日本学術振興会)	30 %	円	本部 % 部局 % 獲得者 %	
			文部科学省が所管する 他の競争的資金	%	円	本部 % 部局 % 獲得者 %	
			他省庁が所管する 競争的資金	%	円	本部 % 部局 % 獲得者 %	
		民間等との共同研究 ・受託研究		%	円	本部 % 部局 % 獲得者 %	
オーバーヘッド	平成16年度	寄附金		%	円	本部 % 部局 %	
		科学研究費補助金(直接経費 相当分からのオーバーヘッド)		%	円	本部 % 部局 %	
		その他 ()		%	円	本部 % 部局 %	

問26 運営費交付金

貴大学における下記の経費の額についてお答えください。

	平成16年度	平成17年度		平成16年度	平成17年度
標準 運営費交付金	千円	千円	標準運営費交付金 対象事業収入	千円	千円
特定 運営費交付金	千円	千円	特定運営費交付金 対象事業収入	千円	千円
附属病院 運営費交付金	千円	千円	病院運営費交付金 対象事業収入	千円	千円
効率化額	千円	千円	経営改善係数額	千円	千円

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。

<担当理事用>

国立大学法人の
財務・経営の実態に関する
全国調査
(Ⅲ. 人材)

2006年1月
国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、人事担当の理事の方を対象としたものです。理事の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接記入していただくか、または同封の回答用フロッピーディスク内のファイルに直接入力してください。
4. 記入の済んだ調査票もしくは回答用フロッピーディスクは、同封の返信用封筒に入れて、他の3つの調査票といっしょに2月6日までにご返送ください。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

以下は、職員(定員内職員(フルタイム))についてお答えください。
ただし、附属病院の職員は除きます。

1 人材の確保

問1 職員の採用

(1) 貴大学では現在、職員の採用にあたって、下記の点をどの程度重視していますか。

a ~ g それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 職務上の専門性.....	19.5	54.9	22.0	3.7	0.0
b. 潜在的能力.....	26.8	53.7	18.3	1.2	0.0
c. 自大学出身者の採用.....	2.4	29.3	34.1	18.3	15.9
d. 地元出身者の採用.....	2.4	29.3	32.9	23.2	12.2
e. 女性の採用.....	13.4	29.3	56.1	1.2	0.0
f. 高学歴者の採用.....	0.0	14.6	61.0	19.5	4.9
g. 学外者の中途採用.....	2.5	17.3	54.3	18.5	7.4

(2) 法人化前と比べて、職員採用の方針に変化がありましたか。

1. あった 56.8 2. なかった 43.2

1と回答した大学にうかがいます。変化の内容を具体的にお答えください。

(3) 新しい職員採用試験が導入されたことにより、法人化前と比べて必要な人材の採用がしやすくなったと思いますか。

そう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
3.6	25.3	51.8	18.1	1.2

(4) 貴大学では法人化後、課長級以上の管理職(役員は除く)について、外部からの採用(中途採用)を行っていますか。

1. 行っている 22.9 2. 行っていない 77.1

(5) 貴大学では法人化後、管理職以外の正規職員の採用について、外部からの採用(中途採用)を行っていますか。

1. 行っている 49.4 2. 行っていない 50.6

問2 人事交流

(1) 貴大学では、**現在**どのような組織との間で、職員の人事交流(出向や研修を含む)を行っていますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 文部科学省(関連独立行政法人を含む) 94.0 2. 他国立大学 96.4
 { 3. 公立大学 0.0 4. 私立大学 2.4 5. 他省庁 12.0 6. 地方公共団体 12.0
 7. 企業 10.8 8. その他 14.5 ()

3~8と回答した大学にうかがいます。人事交流している職種または業務の領域はどのようなものですか。具体的な例をあげてください。

(2) **今後**特にどのような組織との間で、職員の人事交流(出向や研修を含む)の拡大をはかりたいと考えていますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 文部科学省(関連独立行政法人を含む) 60.2 2. 他国立大学 56.6
 3. 公立大学 12.0 4. 私立大学 37.3 5. 他省庁 10.8 6. 地方公共団体 36.1
 7. 企業 51.8 8. その他 12.0 ()

問3 外部委託（アウトソーシング）

- (1) 貴大学では法人化後、新たに年間を通して外部委託（アウトソーシング）した職種または業務の領域がありますか。
 1. ある 59.8 2. ない 40.2
- (2) 外部委託について、**今後**拡大したい職種または業務の領域がありますか。あれば、その名称と理由について具体的にお答えください。

- (3) 外部委託について、**今後**縮小したい職種または業務の領域がありますか。あれば、その名称と理由について具体的にお答えください。

問4 必要とされる職員

- (1) 貴大学では、下記の職務に関係した職員の能力と人数について、どのようにお考えですか。a～eそれぞれについて、あてはまる箇所**1つに✓**を記入してください。

	能力・人数 とも十分	能力十分 人数不足	人数十分 能力不足	能力・人数 とも不足
a. 組織・管理関係.....	12.2	30.5	26.8	30.5
b. 財務・会計関係.....	18.3	31.7	34.1	15.9
c. 人事・労務関係.....	8.5	36.6	28.0	26.8
d. 施設・設備関係.....	29.3	34.1	25.6	11.0
e. 法律・法規関係.....	4.9	30.5	14.6	50.0

- (2) 貴大学では、期待される下記のような能力を持った職員について、どのようにお考えですか。a～dそれぞれについて、あてはまる箇所**1つに✓**を記入してください。

	能力・人数 とも十分	能力十分 人数不足	人数十分 能力不足	能力・人数 とも不足
a. 企画立案能力.....	0.0	29.3	17.1	53.7
b. 対外的折衝能力.....	1.2	29.3	22.0	47.6
c. 情報処理能力.....	3.7	34.1	13.4	48.8
d. 外国語能力.....	2.4	23.2	12.2	62.2

2 人材の育成

問5 人材の育成

- (1) 貴大学では、職員の研修計画を法人化前から作成していますか。
- | 法人化前から
作成している | 法人化後に
作成した | 今後作成する
予定である | 作成する
予定はない |
|------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 59.0 | 20.5 | 20.5 | 0.0 |

1もしくは2と回答した大学にうかがいます。その研修計画は中期計画等の経営戦略の中に位置づけられていますか。

1. 位置づけられている 98.5 2. 位置づけられていない 1.5
- (2) 法人化にともなって、専門的な職員の重要性が増していると思われます。貴大学では特に、どのような分野のスペシャリストを養成したいと考えていますか。具体的にお答えください。

(3) **現在**、貴大学では、職員や管理職の能力向上を目指して、全学レベルでどのような取組をしていますか。a～hそれぞれについて、あてはまる箇所**すべてに**✓を記入してください。

	一般職員 に対して	専門職員 に対して	管理職 に対して
a. 自己啓発の奨励・支援.....	80.7	69.9	57.8
b. 学内研修の強化.....	85.5	57.8	41.5
c. 諸機関のセミナー等の利用.....	79.5	77.1	92.8
d. 大学・大学院の職員養成コース等の利用.....	7.2	2.4	0.0
e. その他大学・大学院等の利用.....	16.9	8.4	4.8
f. 専門学校等の利用.....	7.2	3.6	1.2
g. 大学・大学院通信教育等の利用.....	69.9	53.0	44.6
h. その他（具体的に：).....	10.8	4.8	4.8

(4) **今後**、能力開発のために全学レベルで、どのような取組が必要であると考えていますか。a～hそれぞれについて、あてはまる箇所**すべてに**✓を記入してください。

	一般職員 に対して	専門職員 に対して	管理職 に対して
a. 自己啓発の奨励・支援.....	84.3	72.3	68.7
b. 学内研修の強化.....	85.5	65.1	56.6
c. 諸機関のセミナー等の利用.....	67.5	69.9	80.7
d. 大学・大学院の職員養成コース等の利用.....	47.0	38.6	16.9
e. その他大学・大学院等の利用.....	28.9	22.9	7.2
f. 専門学校等の利用.....	20.5	12.0	3.6
g. 大学・大学院通信教育等の利用.....	47.0	36.1	25.3
h. その他（具体的に：).....	8.4	6.0	7.2

3 人材の配置と処遇

問6 人員配置

(1) 貴大学では、法人化後、事務局の組織のあり方や業務の進め方の見直しをしましたか。
1. 見直しをした 95.1 2. 見直しをしていない 4.9

1と回答した大学にうかがいます。事務組織の見直しにあたって、下記の点をどの程度重視しましたか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 した	やや重視 した	どちらとも いえない	あまり重視 しなかった	重視 しなかった
a. 事務の迅速化.....	65.4	33.3	0.0	0.0	1.3
b. 人員の再配置.....	55.1	34.6	10.3	0.0	0.0
c. 管理職の削減.....	14.1	11.5	46.2	15.4	12.8

(2) 貴大学では、法人化前に比べて、事務の管理方針はどのように変わりましたか。
a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	従来 通り	本部への 集中化を 図っている	部局間の 再編統合を 図っている	部局への 分散化を 図っている
a. 財務・会計関係の事務.....	46.9	40.7	3.7	8.6
b. 教務関係の事務.....	63.0	25.9	8.6	2.5
c. 人事関係の事務.....	61.0	34.1	4.9	0.0
d. 施設管理関係の事務.....	61.0	34.1	4.9	0.0

(3) 貴大学では、人員配置についてどのような点に問題を感じていますか。a～hそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	そう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a. 本部に人員が集中しすぎている.....	2.6	23.7	38.2	14.5	21.1
b. 部局間の人員配置に偏りがある.....	6.6	42.1	26.3	10.5	14.5
c. 事務の部門間で人員配置に偏りがある.....	9.6	53.0	27.7	7.2	2.4
d. 管理的ポストの比率が高い.....	12.0	34.9	37.3	12.0	3.6
e. スタッフのポストの数が多い.....	0.0	12.2	36.6	39.0	12.2
f. 専門性の高い職員が少ない.....	32.5	51.8	13.3	2.4	0.0
g. 非常勤職員への依存度が高い.....	12.0	42.2	20.5	18.1	7.2
h. 年齢構成に偏りがある.....	24.1	54.2	10.8	10.8	0.0

(4) 貴大学では、職員の業務量と人員配置のあり方について検討をすすめていますか。

1. すすめている (検討済み) 84.3 2. すすめていない 15.7

↓
1と回答した大学にうかがいます。検討の具体的内容はどのようなものですか。また、検討の過程で外部のコンサルタントを利用しましたか。それぞれについてお答えください。

検討内容	
外部コンサルタント利用の有無	1. 利用した 13.4 2. 利用しなかった 86.6

問7 職員の処遇

(1) 貴大学では、法人化を契機にして、職員の仕事への意欲はどのように変化したと思いますか。

高くなった	やや高くなった	どちらとも いえない	やや低下した	低下した
3.7	36.6	58.5	1.2	0.0

(2) 貴大学では、職員の仕事に対する意欲の維持向上を図るために、全学レベルで特別な取組（提案制度や自主研修の支援など）をしていますか。

1. している 51.2 2. これからする予定 34.1 3. する予定はない 14.6

↓
1もしくは2と回答した大学にうかがいます。取組をしている場合には、その内容について具体的にお書きください。

(3) 貴大学では、法人化を契機に全学レベルで新たな人事考課・処遇制度を導入しましたか。

1. 導入した 17.3 2. 導入を検討している 63.0 3. 導入していない 19.8

↓
1もしくは2と回答した大学にうかがいます。それはどのような人事考課・処遇制度ですか。具体的な内容をお答えください。

4 自由回答とプロフィール

問8 自由回答

その他法人化に関して感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問9 理事ご自身のプロフィール

最後に、理事ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢（ ）歳
- b. 現職に就いたのは、平成（ ）年（ ）月から
- c. 最終出身大学（ ）大学（ ）学部
- d. 最終出身大学院（ ）大学院（ ）研究科
- e. これまでの部局長・役職経験（部局・役職名等）

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

5 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問10 職員の採用

- (1) 問1(職員の採用)に関連して、平成16年度の職員の採用状況についてお答えください(ただし、人事交流によるものを除き、新規採用および中途採用に限る。附属病院は除く)。

大学院卒	大学卒	高専・短大卒	専門学校卒	高校卒	その他
名	名	名	名	名	名
(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)

* 定員内職員(フルタイム:病院は除く)の採用者数を記入

* カッコ内には、法人化後の職員採用試験によらない採用者数を記入

- (2) 問1の(4)(管理職の中途採用)に関連して、平成16年度に、外部から中途採用した課長級以上の管理職(正規職員)がいる場合には、その数と職名についてお答えください。

職員数	職名

問11 人事交流

- 問2(人事交流)に関連して、平成16年度における人事交流(出向や研修を含む)に基づく正規職員(役員等は除く)の受け入れ数についてお答えください。

文科省 (独法含む)	他国立 大学	公立 大学	私立 大学	他省庁	地方 公共団体	企業	その他

* 定員内職員(フルタイム:病院は除く)の人事交流者数を記入

問12 外部委託(アウトソーシング)

- 問3(外部委託)に関連して、貴大学で年間を通して外部委託(アウトソーシング)している業務があれば、法人化前と法人化後に分けてお答えください。

法人化前	
法人化後	

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。

<担当理事用>

国立大学法人の
財務・経営の実態に関する
全国調査
(Ⅳ. 施設)

2006年1月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、施設担当の理事の方を対象としたものです。理事の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接記入していただくか、または同封の回答用フロッピーディスク内のファイルに直接入力してください。
4. 記入の済んだ調査票もしくは回答用フロッピーディスクは、同封の返信用封筒に入れて、他の3つの調査票といっしょに2月6日までにご返送ください。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

以下附属病院に関する事項を除いて、お答えください。

1 現有施設の状況

問1 現有施設の状況

(1) 貴大学における施設の現状について、どのようにお考えですか。 **a～g**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満足	不満足
a. 新設の状況	6.0	14.3	15.5	35.7	28.6
b. 改修の状況	1.2	8.3	8.3	46.4	35.7
c. 維持・保全	0.0	9.5	28.6	40.5	21.4
d. スペース	1.2	14.5	28.9	47.0	8.4
e. アメニティ	0.0	13.1	20.2	56.0	10.7
f. 美観	2.4	28.6	20.2	42.9	6.0
g. 機能	0.0	15.5	25.0	50.0	9.5

(2) 貴大学では、下記の機能に関わるスペースについて、どのようにお考えですか。
a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	十分	やや 十分	どちらとも いえない	やや 不十分	不十分
a. 教育に関わるスペース	3.6	13.1	31.0	45.2	7.1
b. 研究に関わるスペース	2.4	14.3	21.4	52.4	9.5
c. 福利厚生に関わるスペース	0.0	13.1	13.1	54.8	19.0

(3) 施設の老朽化の度合いや耐震性が問題となっていますが、貴大学の状況についてどのようにお考えですか。 **a, b**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	問題 がある	やや問題 がある	どちらとも いえない	あまり問題 はない	問題 はない
a. 施設の老朽度	59.5	29.8	3.6	4.8	2.4
b. 施設の耐震性	47.6	35.7	3.6	7.1	6.0

(4) 貴大学では、部局間で施設の使用面積に偏りがあると感じていますか。

ある	ややある	どちらともいえない	あまりない	ない
14.3	40.5	28.6	13.1	3.6

1もしくは2と回答した大学にうかがいます。利用面積の偏りを是正するために全学レベルで特別な取組をしていますか。している場合・検討中の場合は、その取組内容について具体的にお答えください。

1. している 48.8 2. 検討中 46.5 3. していない 4.7

取組 内容	
----------	--

問2 施設の状況把握

(1) 貴大学では、全学的な施設マネジメントのための委員会を設置していますか。

1. 設置している 92.9 2. 今後設置する予定 1.2 3. 設置する予定はない 6.0

1と回答した大学にうかがいます。その委員会は適切に機能しているとお考えですか。

機能 している	ほぼ機能 している	どちらとも いえない	あまり機能 していない	機能 していない
33.3-----	44.9-----	14.1-----	7.7-----	0.0-----

(2) 貴大学では、施設の利用状況の実態調査を実施しましたか。

1. 実施した 78.6 2. 現在実施中 17.9 3. 実施の予定 3.6 4. 実施の予定はない 0.0

1もしくは2と回答した大学にうかがいます。調査の内容とそれに基づく改善策があれば、具体的にお答えください。

--

2 施設の新設・改修と維持・保全

問3 新設・改修費用の調達

貴大学では、法人化後の施設の新設・改修にあたって、文部科学省の関係予算（国立大学財務・経営センターの施設費貸付事業や施設費交付事業を含む）以外の資金を調達するために、全学レベルで特別な取組をしていますか。

1. している 34.5 2. していない 65.5

1と回答した大学にうかがいます。資金調達の方法と用途を具体的にお答えください。

資金調達の方法	用途

問4 維持・保全費用の調達

貴大学では法人化後、施設の維持・保全の費用をどうしていますか。

1. 運営費交付金の中の教育等施設基盤経費をそのまま支出 18.1

2. 教育等施設基盤経費の一部を他の費目に充当 50.6

3. 維持・保全費用の一部を運営費交付金の他の費目から一部充当 24.1

4. 維持・保全費用の一部に運営費交付金以外の他の財源を措置 7.2

4と回答した大学にうかがいます。資金調達の方法と用途を具体的にお答えください。

資金調達の方法	用途

問5 PFI方式事業

(1) 貴大学ではPFI方式による事業を行っていますか。

1. 行っている (年度より) 13.3 2. 行う予定がある (年度から) 6.0 3. 行う予定はない 80.7

1と回答した大学にうかがいます。実施事業の内容を具体的にお答えください。

(2) (1)で「1. 行っている」と回答した大学にうかがいます。PFI方式事業について、今後どのようにお考えですか。

拡大 したい	どちらかといえば 拡大したい	どちらとも いえない	どちらかといえば 縮小したい	縮小 したい
45.5	36.4	18.2	0.0	0.0

3 施設の管理と活用

問6 共同利用スペース

(1) 貴大学では、共同利用スペースの確保のための学内管理規定を作成していますか。

法人化前から 作成している	法人化後に 作成した	今後作成する 予定である	作成する 予定はない
69.0	20.2	9.5	1.2

(2) 今後、共同利用スペースについてどのようにお考えですか。

拡大 したい	どちらかといえば 拡大したい	どちら でもない	どちらかといえば 縮小したい	縮小 したい
60.7	34.5	4.8	0.0	0.0

問7 施設の有効活用

(1) 貴大学では、施設利用についてスペースチャージ制（学内施設の利用に関して、一定の料金体系に基づき学内利用者に有料課金をするもの）を実施していますか。

1. 実施している 51.2 2. 今後実施の予定 21.4 3. 実施していない 27.4

(2) 貴大学では、自己収入を得るために、施設の貸し出し制（学内施設を有料で学外者に貸し出しするもの）を実施していますか。

1. 実施している 79.8 2. 今後実施の予定 3.6 3. 実施していない 16.7

(3) 貴大学では、たとえばサテライトキャンパスなどのように、外部施設の有料借り上げを実施していますか。

1. 実施している 67.9 2. 今後実施の予定 1.2 3. 実施していない 31.0

(4) (1)～(3)において、それぞれ「1. 実施している」と回答した大学にうかがいます。施設の効率的活用について、今後どのようにしたいとお考えですか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	拡大 したい	どちらかといえば 拡大したい	どちら でもない	どちらかといえば 縮小したい	縮小 したい
a. スペースチャージ制.....	55.1	38.8	6.1	0.0	0.0
b. 貸し出し制.....	35.3	47.1	17.6	0.0	0.0
c. 借り上げ制.....	13.3	30.0	55.0	1.7	0.0

4 自由回答とプロフィール

問8 自由回答

その他法人化に関して感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問9 理事ご自身のプロフィール

最後に、理事ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢（ ）歳
- b. 現職に就いたのは、平成（ ）年（ ）月から
- c. 最終出身大学（ ）大学（ ）学部
- d. 最終出身大学院（ ）大学院（ ）研究科
- e. これまでの部局長・役職経験（部局・役職名等）

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

5 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問10 新設・改修費用の調達

問3（新設・改修費用の調達）に関連して、法人化後に全学レベルで特別の取組（建物新増設のための募金や寄付金など）をした場合には、その取組による資金調達額をお答えください。

	千円
--	----

問11 維持・保全費用の調達

問4（維持・保全費用の調達）に関連して、平成16年度における教育等施設基盤経費の額をお答えください。

	千円
--	----

問12 PFI方式事業

問5（PFI方式事業）に関連して、法人化後に実施したPFI方式事業があれば、その事業費の額をお答えください。

	千円
--	----

問13 共同利用スペース

問6（共同利用スペース）に関連して、貴大学では現在どの程度の共同利用スペースを確保していますか。また、その利用方法はどのようなものですか。具体的にお書きください。

	面積	利用方法
共同利用スペース	㎡	

問14 施設の有効活用

問7の(1)～(3)（施設の有効活用）に関連して、「1. 実施している」「2. 今後実施の予定」と回答した大学にうかがいます。以下のそれぞれについて具体的にお答えください。

スペースチャージ制 対象施設、課金方法、徴収金額等	
貸し出し制 対象施設、課金方法、徴収金額等	
借り上げ制 対象施設、利用の目的、借り上げ金額等	

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。